

保健事業を実施する上で市民に「新しい生活様式」を分かりやすく伝えるポスター等を作成し、啓発してはどうか

より分かりやすく目に留まるポスター等の作成に取り組んでいく



内藤 喜久枝
かがやき

新型コロナウイルス感染症に対応した市民生活について

- 問** 3か月以上休止だった高齢者の介護予防教室が6月から順次開始されたが、再開に当たりどのような対応を講じたのか。
- 答** 「新しい生活様式」の実践はじめとした感染防止対策を講じた。当面は参加者の状態を見ながら身体への負荷を加減したり、熱中症対策として小まめな水分補給もお願いしている。
- 問** 新型コロナウイルスの感染を恐れて介護予防教室の参加に躊躇されている高齢者への対応は。
- 答** 健康寿命延伸の観点から介護予防教室の参加は有効であり、感染防止対策や介護予防の重要性を伝え、安心して参加していただけるように努める。
- 問** 保健事業の中止や延期、開始の遅れがあったが、市民への影響と今後の対応策は。
- 答** 母子保健事業については、保健師や栄養士等への相談や保護者同士の交流の機会が減少したことで、育児不安に影響があった。専門職による相談の場を提供し、育児不安の軽減につなげたい。各種健診等については、受診状況によっては期間の

延長も検討する。健診事業者や医療機関とも協力し、感染防止対策の徹底にも取り組む。

- 問** 感染防止対策の長期化が予想される。保健事業を実施する上で市民に「新しい生活様式」を分かりやすく伝えるポスター等を作成し、啓発してはどうか。
- 答** 健診会場や公共施設等でのポスター等の掲示や啓発が有効であるため、より分かりやすく目に留まるポスターやチラシ等の作成に取り組んでいく。
- 問** 市民が不安を感じない範囲の衛生資材の備蓄が必要だと思うが、市の考え方は。
- 答** 市民が家庭で行う備蓄を啓発するとともに、関係機関との共同購入や、衛生資材の提供を目的とした協定等を検討し、確保に努める。

問 中止や延期になった学校行事の開催予定は。授業日数の確保に影響が出ないよう行事のスリム化を図るなど、行事計画の見直しを進めている。

問 夏休み期間を短縮し授業をすることで、学習の遅れを取り戻すことができるか。

答 時間割の変更、行事の見直し、学習内容の精選と指導の工夫で、遅れを取り戻していく。

問 これまでの学校の状況をどのように捉え、今後どのように対処していくのか、教育長に伺う。

答 約3か月の長きにわたり、通常ではない形が過ぎてしまった。学校は子どもたちが仲間と共に過ごし、生きていく上での基盤となるものを学んでいく場。そうした学校の機能を一日も早く取り戻したい。心が不安定になっている子どもたちへ寄り添った丁寧な教育活動を進めるように努める。各学校の創意工夫と努力、それを支える教育委員会の指導や支援により、この難局を乗り越えたい。

